「国見学園アクティブプラン」　「自ら学び、心豊かでたくましく、郷土を愛する国見の子の育成」３つの柱・９項目の評価シート　２０１９　【 藤 田 保 育 所 】

	確かな学力をはぐくむ			心身の健康を育む			郷土愛をはぐくむ		
	家庭学習の習慣化を図る	保・幼・小・中の学びをつなぐ	国際理解の充実	読書の習慣化を図る	「早寝・早起き・朝ごはん」運動 「あいさつ運動」	体力の向上 食育の充実	「ふるさと国見」を学ぶ	子どもと地域の人々とのつながりを深める	子ども同士のつながりを深める
めざす子どもの姿等 達成規準 達成基準	発達過程に即した遊びや経験をする。	遊びと生活を通して「自分でしよう」という気持ちが芽生え、意欲をもつ。	いろいろな国の言葉の響きがあることを感じる。	読み聞かせや絵本に触れ、関心を持つ。	基本的生活習慣が快い感覚として身に付いていく。 生活に必要な「あいさつ」を知る。	発達過程に沿って体を動かす心地よさや楽しさを感じる。 食事を楽しみ、意欲的に食べようとする。	日頃の遊びや散歩などで国見の自然を感じる。 国見の民話を知る。	地域の方に親しみを持ち一緒に楽しく過ごす。	「お兄さん・お姉さん」の存在を知り親しみを持つ。
	・家族との触れ合いやかかわりを十分に受け、遊びや発達に即した経験ができている。	・「自分でしよう」という意欲をもち身の回りのことや遊び、活動を行おうとしている。	・英語の手遊びや子守唄に親しみ聞いている。	・読み聞かせを「おもしろいと感じている。 ・自分から絵本に触れ見ようとしている。	・簡単な身の回りのことを自分で行っている。 ・適切な生活リズムがつくられ、過ごしている。 ・保育者と一緒に「あいさつ」できている。	・生活や遊びの中で発達に合った動きを十分に行っている。 ・さまざまな食品や調理形態に慣れ、食べようとしている。	・散歩や戸外遊びで自然とかかわっている。 ・紙芝居やペープサートを見ようとしている。	・野菜栽培や行事などで地域の人とかかわることができている。	・「お兄さん・お姉さん」という存在を感じながら、小、中学生と一緒に過ごしている。
具体的な実践	○子どもの育ちや様子を知らせ家庭との連携を図る。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより ・クラスたより（月１回） ○家族との触れ合い、かかわり　（家庭）	○保育者との信頼関係を基に、子どもが「意欲」をもつことができる援助（日々の保育） ○情緒的、社会的及び道徳的な基盤の発達を促す保育（日々の保育） ○くにみ幼稚園との連接、情報交換 ・幼保連絡協議会（6月） H30、２歳児担任 ・保幼連絡協議会（2月） ２歳児担任 ・町保育研究会への参加	○午睡時の子守唄や手遊びの英語の曲を取り入れる。 ○上記の取り組みを家庭に伝える。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより ・クラスだより（月１回）	○絵本の読み聞かせ ・毎日２回程度 ○絵本の紹介 ・クラスだより ○家読の勧め ・毎月４～６のつく日の取り組み ・「絵本大好きカード」 （家庭・担任） ○家庭への絵本の貸出 ・職員室前の貸し出し用絵本箱の設置	○家庭と連携を図り、適切な生活リズムがつくられるようにする。 ・入所時、保護者に聞き取りをし、家庭での生活リズムを把握する。 ・連絡帳（毎日） ・保育所だより（月１回） ・クラスだより ○保育所生活の中で、簡単な「あいさつ」を子どもと一緒に行う。	○発達に即した身体・運動機能の促進を促す。 ・環境整備、見直し、工夫（保育室、遊戯室、廊下、所庭） ・玩具、遊具の選択（年齢、月齢に合った物） ○野菜の栽培 （ミニトマト、おくら、ピーマン、きゅうり、） ・苗植え、収穫、食べる ・野菜を使った遊び（スタンピング、製作遊びなど）	○戸外遊びや散歩の機会を多くする。 ○「国見の民話」のペープサート、紙芝居などの製作 ※子ども達にも理解し易い内容の選択	○デイサービスとの交流 ・年----３回 （６、１０、１２月） ○合同避難訓（6,11月） （全乳幼児、職員） ○学校ボランティアの活用 ・年----６回程度 （全乳幼児、職員） ○人形劇鑑賞・年----2回 ○秋祭り「山車」の観覧 ・錦町若連 ○散歩や所外活動での地域の人とのあいさつや会話	○サマーボランティア ・７月---２日間 （小中高生、社会福祉協議会職員） ○職場体験 ・７月---２日間 【中学２年生】
取組の実際・子どもの変容・評価　評　定	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１	４　３　２　１
次年度に向けて									